

Tiara

看護情報誌ティアラ 2021年10月

Nursing 最前線

●新潟大学医歯学総合病院

新たな発想で

研修の見直しを図り

コロナ禍であっても

変わらない教育を提供

地域の看護 AtOZ

【公衆衛生看護編】

SCOPE 注目の話題

●真生会富山病院「新人注射勉強会」

——新たな試みと課題

臨床現場で求められる

注射スキル獲得のため

研修のレベルアップを図る



新たな発想で 研修の見直しを図り コロナ禍であっても 変わらない教育を提供

新潟大学医歯学総合病院

新潟大学医歯学総合病院は、新潟県唯一の特定機能病院として地域を支えています。新型コロナウイルス感染が広がる状況下においても、感染患者さんへの対応に貢献しており、そのなかで医療従事者の育成にも尽力しています。同院看護部では、これまでとは違った環境に対応した新採用看護職員研修のかたちを模索。新たな視点と変わらない視点を大切にした取り組みの様子をご紹介します。



研修の量と質を維持するため eラーニングを活用

「新型コロナウイルス感染症が国内で初めて確認されたのが2020年2月。正確な情報がなかなか得られないまま3月を迎え、新採用看護職員研修をどのように行うか悩みました。コロナ禍だからといって、研修量を減らすわけにはいかない。そこで着目したのがeラーニングです」と新潟大学医歯学総合病院看護部長の杉田洋子さんは話します。eラーニングは以前から活用してきましたが、今回は違うかたちで新採用看護職員研修に組み込むことにしたのです。

2020年度は、主に自宅待機で研修会場に来られない新採用者のためのプログラムとして活用しまし

たが、2021年度には、これを講義に代わるものとして研修内で視聴することにしたのです。教材はeラーニング用コンテンツやDVDを使用。感染対策から会場を2~3カ所に分け、各会場に配置したトレーナーが受講者の理解度を確認して、それを演習につなげることで研修の効果を高めました。

「当院のルールとして、現在新採用職員は健康観察期間（2週間）を経てからの配置となります。その期間を研修に当て、集中して学べたこともよい結果につながったのかもしれない」（杉田さん）

新採用者の不安解消のため 新たなプログラムを企画

一方で、新採用者は入職してから一度も配属先に



1. 感染対策から研修会場は「収容人数の半数以下かつ30人以内」に調節。分散開催または時間差入れ替えてスケジュールを作成している。距離の確保、換気、マスク着用も徹底
2. RICCA*の研修を企画・運営している看護職キャリア開発コアセンターのメンバー
3. 杉田洋子看護部長



4



5



6

- 4. 2020年度からより力を入れている感染管理の研修。演習を行う受講者も真剣な面持ち
- 5. キャリアデザインの研修では受講者はタブレットを使用して、それぞれの配属先の紹介動画を視聴
- 6. 2021年度は新型コロナウイルス感染症患者さんを想定した口腔ケアの演習も行った

足を運ぶことなく、従来の集合研修を含めおよそ3週間を研修で過ごすことになります。学生時の実習機会が不足していることもあり、看護職としてやっていけるか不安をもつ懸念がありました。そこで、研修を企画・運営している看護職キャリア開発コアセンターのメンバーらは、新たに2つのプログラムを新設。それは、看護職としての原点に立ち返るものでもありました。

1つは「コミュニケーション」。対人サービス業ともいえる看護には必要なスキルです。基本を学ぶ講義（DVD）に加え、シミュレーションを交えた演習を行い、患者さんや職場の仲間、他職種など人とのかかわり方を確認・習得します。

そしてもう1つは「キャリアデザイン」です。看護職として自己実現を図るための動機付けをねらいとするもので、仲間づくりの機会も提供します。各新採用者が、配属先の先輩が作った部署の看護を紹介する動画メッセージを視聴し、看護職としての自分の仕事をイメージすることから始まるのが特徴です。

これらの研修を受けたことで、新採用者はすんなりと職場に溶け込むことができ、受け入れた各部署も彼らの患者さんへのアプローチに安心感を得たという報告を受けたといいます。杉田さんは「新しいプログラムに予想以上の効果を感じました。来年度も継続する方向です」と話します。

新採用看護職員研修の実績をほかの研修にも応用

この新採用看護職員研修は、同院看護部が「“気づく”を育て伸ばす」をコンセプトに構築したキャリア開発支援システムRICCA*に組み込まれています。RICCAは「六花（雪）」を意味し、1つとして

同じもののない雪の結晶を個性ある看護職になぞらえたもの。教育プログラムやシミュレーショントレーニングプログラムを開発し、看護職が主体的に看護実践能力の向上を図れるよう支援しています。

看護部では、新採用看護職員研修の実績を参考に、RICCAによるほかの研修でもeラーニングの活用を広げています。特に、専門領域のなかの「スキンケア／創傷管理」「感染管理」の研修で使用される教材は、同院で行っている看護師特定行為研修で使用されるeラーニングプログラムを認定看護師が再編集。優れた教育資源を再活用できるようにしました。

「当院は医育機関として医療人材育成の使命を担っています。ですから、当院でその道をスタートさせた看護職には、どのようなかたちであっても道を継続してほしい。そのような視点をもって学びを支援しています」（杉田さん）



DATA

新潟大学医学総合病院

新潟県新潟市中央区旭町通一番町754

<https://www.nuh.niigata-u.ac.jp>

開設 ●1869年 病床数 ●827床

職員数 ●1675名 うち看護職872名
(2020年5月1日現在)

看護体制 ●一般病棟7：1

日本医療機能評価機構認定病院／地域がん診療連携拠点病院／地域災害拠点病院（新潟県）／高度救命救急センター／総合周産期母子医療センター／新潟県難病診療連携拠点病院

*「respect:尊重」「improvement:進歩」「compassion:思いやり」「concern:関心」「autonomy:自律性」の頭文字を組み合わせた造語

地域の看護

AtoZ

公衆衛生看護編

地域包括ケアシステムのなかで、看護職はどのような役割をもち、どのような現場で活躍しているのでしょうか。地域でのさまざまな看護のかたちを再確認していきます。今回は「公衆衛生看護」です。

解説 昭和大学保健医療学部看護学科
公衆衛生看護学 准教授
中田晴美先生

公衆衛生看護・行政看護職とは



公衆衛生看護の目的は、地域で生活する新生児から高齢者まであらゆるライフステージ、さまざまな健康レベルにあるすべての人々（個人・家族・集団・組織）を対象に、その人の生活と健康の保持・増進を予防の観点から支援することです。さらに、地域全体を対象として、住民の健康状態および社会環境をアセスメントし、住民の健康を守るまちづくりを推進していきます。

公衆衛生看護を担う行政看護職は、主に都道府県や政令指定都市、中核市、特別区の保健所と市町村保健センターに所属しており、その大半が保健師です。2018年末における保健師の就業場所は、「市区町村」が2万9666人（56.0%）と最も多く、次いで「保健所」が8100人（15.3%）となっています¹⁾。

行政看護職は、自治体の公務員として公共の利益のために勤務する側面と、多くの専門知識を有する専門職として勤務する側面の双方を担っているのです。

行政看護職の仕事内容



行政看護職の仕事の内容は、勤務する場所によって異なります（図1）。

① 保健所

保健所は、専門的・広域的・技術的機能を有する公衆衛生の第一線機関です。医師、薬剤師、管理栄養士など、さまざまな専門職と協働して住民の健康と安全を守っています。主な看護活動として、感染症・難病・精神保健、市町村への支援、災害等健康危機管理業務があります。昨今では、新型コロナウイルス感染症発生時の患者さん本人と家族への療養支援や感染拡大防止のための啓発活動、災害発生時の心のケアなどの活動が目まぐるしく行われています。

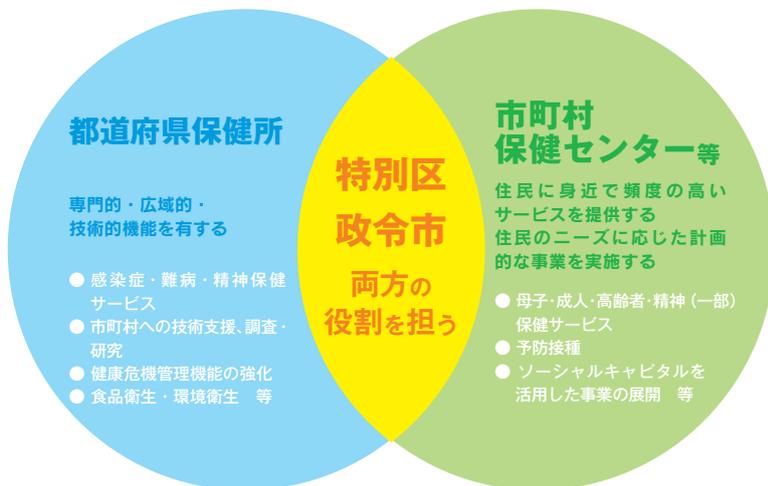
② 市町村保健センター

市町村保健センターは、住民の健康増進や健康問題を解決するための身近で頻度の高いサービスを提供しています。主な看護活動として、母子・成人・高齢者保健や地域づくりという業務があります。例

えば、母子保健での両親学級、新生児家庭訪問、乳幼児健康診査、成人保健での各種健康診断後の保健指導、高齢者保健での介護予防教室や自主グループ活動への支援など、多岐に渡る業務に携わります。

さらに、日頃の活動を通して明らかになった地域全体の健康問題を解決するための施策化に参画し、地域の特性に応じたケアシステムを構築するという行政看護職特有の仕

図1 保健所での活動と市町村での活動の分担





プロフィール なかだ・はるみ

聖路加看護大学看護学部看護学科卒業。東京都葛飾区で保健師として行政看護に従事。東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科にて博士（看護学）を取得。2004年東京女子医科大学看護学部専任教員。2019年度より現職。介護予防に関する研究や講演会活動等にも従事。

事もあります。

近年では、DVや児童虐待などの複合的な問題を抱えるケースへの対応、健康危機管理など、役割が多様化しています。その場合には、保健所と市町村保健センターの看護職が協働して組織的に公衆衛生看護活動に取り組んでいます。

求められるスキル



行政看護職には「対人支援技術」というスキルが求められます。例えば、保健指導を行う際には、さまざまな対象者のヘルスアセスメントに対応できる幅広い知識と観察力、カウンセリング技術などが必要です。社会資源を導入するためには、対象に応じた制度の知識や、関係職種と連携体制を構築しておくことも重要です。また、集団に対して行う健康教育では、企画力や効果的な教材の工夫といったプレゼンテーション能力が必要となります。

さらに、地域全体の健康問題を分析する「地域診断（コミュニティヘルスアセスメント）技術」が重要です。そのためには、系統的に多くの情報を収集するためのICT活用能力、情報分析に必要な疫学・保健統計の知識、全体を俯瞰して捉える視点を身につけることが大切です。

地域とのかかわり



「地域住民は支援の対象ではなく主体であり、地域の健康問題解決に向け共に考え、活動する仲間である」という考え方が公衆衛生看護の基本です。これに基づき、住民自らが自分の健康を守る「自助」の育成、住民同士がつながりをもって支え合う「互助」や「ソーシャルキャピタル」の醸成、住民の組織化が現代社会の喫緊の課題とされています。そのため、行政看護職には、地域に出向き、住民および



図2 行政看護師に求められる多角的な視点

関係機関と協働して「地域のあるべき姿」を達成していくようなかわりが期待されています。

行政看護職に今後求められること



行政看護職は、地域で生活するすべての人々と地域全体を対象に活動していますが、対象者や健康問題は多様化してきています。そのため、「虫の目」「鳥の目」「魚の目」「コウモリの目」といった多角的な視点を駆使し、多様な場面に柔軟に対応できる行政看護職が求められています（図2）。「虫の目」によって身近な場所から住民を注意深くみつめ、「鳥の目」で地域全体の健康問題を俯瞰的に捉え、世の中や時間の流れを捉える「魚の目」で、新型コロナウイルス感染拡大など人々の健康へ影響を与える社会環境の変化を把握し、一方で、物事を逆の視点から捉える「コウモリの目」をもち合わせることで大切です。行政看護職には、常に生活者の視点に立ち、住民に寄り添い、健康と安全を守る身近な存在であり続けることが求められているのです。

参考資料

- 厚生労働省 政策統括官付参事官付行政報告統計室：平成 30 年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況（2021年7月5日閲覧）<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei/18/dl/kekka1.pdf>
- 厚生労働統計協会：第1編 わが国の社会保障の動向と衛生行政の体系 第2章 衛生行政活動の概況、国民衛生の動向2020/2021 67（9）、2020、p28-34.



臨床現場で求められる 注射スキル獲得のため 研修のレベルアップを図る

真生会富山病院「新人注射勉強会」——新たな試みと課題

医療機関にとって勤務する看護職の育成は重要な位置付けにあります。看護職の業務には多様な専門知識と技術が求められるだけに、各施設ではその研修のあり方を振り返りながら、よりよいものをつくりあげていこうとしています。2020年度から新人看護師に対する「新人注射勉強会」を見直し、新たなプログラムをスタートさせた真生会富山病院の研修の様子をご紹介します。

早期・確実な新人看護師育成のため 現場での対応力までカバーする内容に

富山県射水市にある医療法人真生会 真生会富山病院は、1988年に医院として開院し、着実に機能を増やしながら2000年には99床を有する病院となりました。現在診療科は22となり、総合病院として地域のニーズに対応しています。その業務を支える看護職は180余名（補助者含む）で、新人看護師も貴重な戦力として数えられています。そのため新人看護師研修には「早期に確実に育成すること」が求められ、特に注射については、短期間で即戦力となり得る知識・技術を身につけることが期待されています。

このような現状を受け、看護部ではこれまで手技の習得を中心に1日で行ってきた「新人注射勉強会（以下、勉強会）」を、2020年度から2日間かけることにしました。新たにシミュレーション演習を取り入れ、現場での対応力も含めたスキルの獲得を目指した研修を始めたのです。

「注射は針を穿刺して薬液を注入できればいいというものではありません。臨床では、注射を施行する前の声かけから注射後の観察まで、さらに急変などが起こった場合にはその対応まで行うことが求められます。新人看護師がこのような流れで注射を早期に実践できるようにするため、これらが身につけられる教育を構築していく必要があると考えました」

勉強会を担当している黒川依子さんはこう話します。黒川さんは、看護部教育部会新人担当として5年

前から勉強会を企画・運営。その後2019年に指導者として自身のスキルを高めたいと「IVナース指導者養成研修」*を受講したことを契機に、勉強会の内容を見直す必要性を感じ、2020年度に新たなプログラムを導入したそうです。

注射の技術の獲得を目指す一方で 新たな試みでは課題も浮き彫りに

2021年の勉強会は、5月12～13日に実施されました。受講した新人看護師は6名です。

1日目は、注射についての理解と基本となる手技の習得を目指したプログラム。注射の種類や適応、注射の方法などに加え、施行時の確認や患者説明の要領まで、注射の基礎知識についての講義から始まりました。続いて動画と実践による手技の演習へ。受講者2人に対し1～2名の指導者がつき、受講者の疑問等に応えながら、手技のポイントや実施のコツなどをレクチャーしました。最後に各注射方法についてのタスクトレーニングを行い、それぞれの流れを確認しました。

「受講者はまだ臨床経験が不足しているので、現実感をもって手技にあたるのは難しいでしょう。そのため理解するのに苦労している場面もありましたね。勉強会では、注射における注意事項を理解し、一つ一つの技術を基本からしっかり獲得してもらうことに主眼を置きました。そのうえで、それを臨床で実践し、観察・対応までできるようになってほしいという思いをもって指導にあたりました」（黒川さん）



勉強会の企画・運営を担当している
黒川依子さん

2日目はシミュレーション演習と輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いです。

シミュレーション演習では、「アナフィラキシーショック」と「迷走神経反射」の2事例について対応を考えます。ところが、今回の勉強会では当日になって予定が変更になりました。各事例についての標準的な対応を確認した後、1日目に学んだ基本の技術の確認となりました。経験のない新人看護師がシミュレーションを行うには、状況をイメージして動き方を考えなければなりません。受講者たちには前日に事例への対応が課題として与えられましたが、イメージと自らの動きを具体的に結びつけることは難しかったようです。シミュレーション演習の運び方に課題を残すことになりました。

輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いに関しては、予定どおり講義と演習が行われました。

2021年度勉強会の振り返りから 受講者により役立つプログラムを

2021年度の勉強会におけるシミュレーション演習で生じた課題について、黒川さんは次のように振り返りました。

「新人看護師に考える糸口を見出してもらえるような働きかけが必要であることを痛感しました。SNSや動画を活用するなど、わかりやすく状況が把握できる方法を考えなければいけませんね。シミュレーション演習では、急変対応だけでなく、基本知識・技術の応用も身につけられます。常に応用が求められる臨床現場に立ったとき、受講者に少しでも役立ててもらえるプログラムにしたいと考えています」

2020年度の勉強会は、新型コロナウイルス感染症対応（発熱外来の開設）により6月の実施でした。1カ月ではありますが、受講者が臨床現場を長く体験していたことで、シミュレーション演習の際も実際の様子をイメージしやすかったようだといいます。勉強会の実施時期も来年度以降の検討要素の1つになるのかもしれませんが。

新しい試みを行う際の難しさがうかがえる一方で、新人看護師が自信をもって業務に取り組めるよう育成を進めたいと、新しい試みに取り組んだ看護部の熱意が感じられる勉強会でした。



勉強会は注射の基礎知識についての講義からスタート



注射での静脈穿刺を学ぶ受講者たち。手順を確認しながら慎重に手技を訓練



穿刺に使用した器材は受講者一人ひとりに渡された。各々がトレーニングできるよう黒川さんが手作りした



点滴静脈注射の演習では、点滴バックの準備、ルート接続、刺入から抜針までの実施方法をしっかり学んだ



予定していたシミュレーション演習は各事例についての対応の確認に変更

心のモヤモヤを
スッキリ解決!

ナースの ストレス攻略術

vol.10

解説

ベスリクリニック
臨床心理士・公認心理師
蓮見紋加さん

今回のストレス

どんどん先に進んでいる同期の姿に焦りを感じます。
自分と比べて不安になりぐるぐる考えてしまいます。

人と比べて焦りを感じる、不安で頭がぐるぐるするのは、誰かから何か指摘されたわけではなく、自分で自分を評価しているときではないでしょうか。脳は使っているとどんどん温度が上がり、活動がより活発化します。つまり考えれば考えるほどぐるぐるしてしまうのです。

その対策として、マインドフルネスな状態を目指すトレーニングをお勧めします。マインドフルネスとは、今という瞬間への評価や判断を挟まない気づきの状態のこと。自分に対する評価は、瞬間的・自動的に行われています。そんな自分の思考の動きに目を向け、判断を挟まないようにすると、あるがままの自分を受け入れ、気

持ちを落ち着けてリセットすることができます。

呼吸を使ったトレーニング方法を紹介します。①気づいたときいつでも、呼吸に意識を集中します。息を吸う／吐くたびに、お腹がふくらんだり引っ込んだりするのを感じます。②意識を集中している間に、湧いてくる思いや感じに注意を向け、評価せずにただ観察します。③思いや感じ、物事への見方に変化が生じたら、それにも注意を向けてみましょう。「気が散ってしまった」「うまくできない」などのマイナス評価が浮かんでも「ダメだ」と思わず、「そういう気持ちが浮かんできた」と観察できるようにすることをイメージするといいですね。

あるがままの自分を受け入れることができる
マインドフルネスな状態を目指すトレーニングを。

**医療研修施設
ニプロ iMEP
に行ってきました!!**

新人ナース
「たのしみ〜」

先輩ナース
「すごいよね!」

「せっ先輩〜!! エラー音が止まりません!!」

この部屋では、患者さんの状態を細かく設定して、実際の急変時にどう動けばよいのかをシミュレーションできるのよ。現場に近い状況で研修できて、新人ナースにもってこいね。

一軒家のようになっていて、ポータブルトイレや、隣にはバス、キッチンも揃っているのよ。実際の状況に近い形で研修できるの!

在宅用のトレーニングルームもあるんですね。

ここでは主に薬剤師さんが研修をするのよ。調剤をするためのクリーンベンチもあるのよ。

こんな感じですかね?

コラ! 遊ばないの!

施設 DATA
「医療研修施設 ニプロiMEP」
〒525-0055 滋賀県草津市野路町3023番地
3階建て 研修室数16室

各研修室には最新の同時録画装置を設けており、館内でのライブ配信学習、録画振り取り学習はもとより、WEB回線を用いることで世界中に配信も可能

医療関係者向け講習会のお知らせは下記よりご確認ください (URL)
http://med.nipro.co.jp/imep_society

NIPRO